

胃がんリスク検診（ABC検診）

《胃がんリスク検診（ABC検診）について》

胃がんリスク検診（ABC検診）とは、胃・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無（抗体検査）と胃粘膜の萎縮（老化）の程度（ペプシノゲン検査）とを組み合わせ、将来の胃がんリスクを予測する検診です。胃がんリスクをABCDの4群に分類します。胃カメラに抵抗がある方は、まずABC検診を受けて、胃カメラによる精密検査を受ける必要があるかどうかを判断しましょう。

※ABC検診は、血液検査による簡便な検査ですが、あくまでも胃がんのリスクの程度を調べる検査であり、胃がんの有無を診断する検査ではありません。

※以下に該当される方は、正しい判定ができない可能性がありますのでご注意ください。

- ・胃の病気の治療中の方
- ・胃切除後の方
- ・胃酸を抑える薬を服用中の方
- ・腎不全の方
- ・ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療を受けた方

【ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査とは…】

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫能の働きが不十分な幼小児期（4～5歳）頃までに感染すると考えられています。子供の頃に感染しなかった場合、大人になってから感染することは稀だと言われています。

【ペプシノゲン検査とは…】

食べ物の消化に参与する「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を調べることで胃粘膜の萎縮（老化）の状態を客観的に調べる検査です。

《ABC分類と胃がんリスク》

ABC判定区分は下記の表のとおり、A～D群に分類され、今後の管理・対処法が決まります。

ABC分類 (ABCD分類)		ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査	
		(-)	(+)
ペプシノゲン 検査	(-)	A群	B群
	(+)	D群	C群

A 群	<p><u>正常な胃です。</u></p> <p>おおむね健康的な胃粘膜です。 胃の病気になる危険性は低いと考えられます。 逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。</p>
B 群	<p><u>胃がんリスクがやや高いです。</u></p> <p>少し弱った胃粘膜です。 胃がんのリスクがあります。 胃内視鏡検査を受けましょう。 ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。</p>
C 群	<p><u>胃がんリスクが高いです。</u></p> <p>萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。 胃がんになりやすいタイプと考えられます。 定期的な胃内視鏡検査をお勧めします。 ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。</p>
D 群	<p><u>胃がんリスクがかなり高いです。</u></p> <p>萎縮が非常に進み、ピロリ菌が胃に棲息できなくなっている状態です。 胃がんを発症するリスクがかなり高いと考えられます。 必ず専門医療機関で胃内視鏡検査を受けてください。</p>
E 群	<p><u>ABC 分類対象外です。</u></p> <p>ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、 E 群（除菌群）として定期的に胃内視鏡検査を受けましょう。</p>

《費用》

この検査の費用は保険適用外で、2,000 円（税込）になります。

※検査結果の郵送をご希望の方は、別途郵送料（500 円）がかかります。

《受付日時》

毎週月曜日～土曜日の 9：30～17：00（金曜日は第 2・第 4 の午前のみ）で予約可能です。

お電話か Web 予約にてお申し込み下さい。

電話 045(911)3232

WEB 予約 当クリニックホームページ内の「CLINICS」の予約ページからご予約ください。

<https://tsuchiya-kinen-clinic.com/>

